山梨県市町村総合事務組合
山梨県市町村職員研修所

研修所月報　春夏号

カイカン君

日に日に日差しが強くなり、本格的な夏の到来を予感させる時期となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。今年は早くから夏日を記録する日もあり、体調を崩しやすい日が続いております。ご自愛ください。

研修の実施状況をお伝えしております研修所月報は、令和 6 年度から発行時期を年 3 回（春夏号、秋冬号、新年号）に変更させていただきました。これからも有意義な情報発信ができますよう尽力して参りますのでよろしくお願いいたします。

研修レポート

社会活動研修　≪対象者：新任職員≫

5 月 20 日から 4 班に分けて社会活動研修（宿泊研修）を開催したところ、今年度は 249 名の新任職員の方にご参加いただきました。

この社会活動研修は、①組織における規律や協調性を理解し、円滑な人間関係を築くための知識と技術を身に付けること、②行政課題について調査・研究を行い、研修生の能力向上を図ること、③自治体の枠を越えた人材交流によって、横のつながりを強化し、広域的連携を構築することを目的としており、異なる自治体職員同士がグループとなって、与えられた行政課題に取り組む研修となっています。

令和 6 年度は「観光を活用した地域活性化策」をテーマとして、これまでにない施策を考えていただきました。2 日間という短い時間ではありましたが、観光施策の目的、概要、予算及び効果を整理し、最後に発表していただきました。今回の研修所月報では、この研究成果をご紹介させていただきます。

なお、本研修は富士吉田市内にあります（一財）人材開発センター富士研修所で実施しました。雄大な富士の下で、2 日間課題に取り組んでいただきました。

【第１班】5 月 20 日（月）・21 日（火）

〈各班の施策内容〉

1 班：「山梨市で泊まって」…宿泊施設の少ない山梨市の現状をテーマに、空き家を使った宿泊施設としての活用と移住体験を行う施策。

2 班：「山と源流と共存するホテル」…小菅村をテーマに、若年層と定年世代をターゲットに古民家ホテルで山里暮らし体験を PR し、収益と雇用の増加を図る施策。

3 班：「冬のキラキラ大作戦」…冬に観光客が落ち込む山梨市の観光をターゲットに果樹園にイルミネーションによる観光スポットを作ることで観光客の増加を目指す。

4 班：「大月を通り道で終わらせない 岩殿を活用した街づくり」…登山ビギナーをターゲットに、岩殿山への登山を促し、「鬼退治スタンプラリー」でおつけだんごと桃太郎伝説による市全体の活性化を目指す施策。

5 班:「世界中で愛されるキャラクターで山梨を笑顔に」…山梨の名所とサンリオキャラクターとのコラボレーションによる山梨県全体の活性化を図る観光施策。

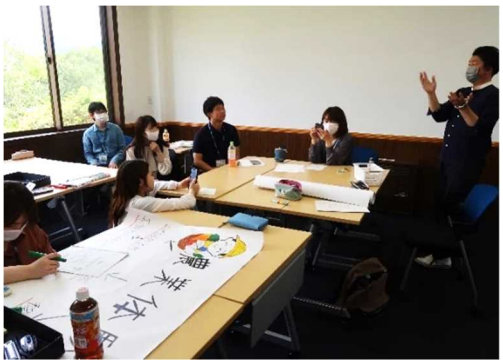
6 班：「第 2 のふるさと 土地活用による地域活性化」…北杜市内の廃校と耕作放棄地を活用した農業体験による観光施策。

7 班：「親子で大自然体験」…清里の森と別荘地地帯の有効活用による地域活性化策。

8 班：「笛吹の知られざる魅力　～FUJIYAMA ワインとグルメフェア～」…FUJIYAMA ツインテラス等の観光客を笛吹市内に引き込み、知られざる魅力を発見する観光施策。

9 班：「富士川町×グランピング」…富士川町内で富裕層をターゲットとした観光施策。

10 班：「自慢特産品推しまつり」…オーガニック商品に特化した特産品を一堂に集め、飲食店と農家のマッチング機会を創出し、農家の担い手を増やして地域の活性化を図る。



第 1 班では 64 名の新任職員の方に参加いただきました。どのグループも各自治体の観光施策の課題を探るため、積極的に意見交換している姿がありました。また、研修発表会においても活発な質問も多く、特に 8 班の島田さん（早川町）の姿が印象的で、施策により一層磨きがかかりました。

その中で優秀賞に輝いたのは､4 班の岩殿山（大月市）を通じて市全体の活性化を図る観光施策でした。多くの人を大月に留まらせたい伊藤さん（東部地域広域水道企業団）の想いからこのテーマにしたそうです。リーダーの西川さん（山梨市）をはじめ、チーム一丸で取り組んだことが優秀賞に結び付きました。

【第２班】5 月 27 日（月）・28 日（火）

〈各班の施策内容〉

1 班：「よりよい町づくりに向けた外国人観光客への対応」…外国人観光客の増加に対し、外国人向けの交通マナー対策を行うことでよりよい町づくりを目指す。

2 班：「Welcome to NISHIURA」…富士吉田市西裏地区をテーマに海外観光客向けマップの作成し、新たな観光スポットの創出と既存スポットの混雑解消を図る施策。

3 班：「甲州市きずな事業」…「**き**たいと思う、**ず**っと魅力の絶えない、**な**いすな甲州市」をテーマに、幅広い年代を集客する観光施策。

4 班：「知ってる！アナタの知らない笛吹市」…スタンプラリーを通じて笛吹市石和地区の商業活性化を図る。

5 班：「甲州ワインサウナ FES」…「サウナ×食×体験」をテーマに、遊休農地にサウナ施設を置き、ワインとのコラボによる地域活性化を図り、また、農業の担い手不足を解消する。

6 班：「ぐるっと身延～おでかけスタンプラリー～」…スタンプラリーを通じて観光客が知らない身延町の観光スポットを知ってもらう施策。

7 班：「清里遺産（仮）グランプリ」…清里駅前の廃ホテルを活用した清里地区の地域活性化。

8 班：「立ち上がれ！MAKI 村」…観光地における宿泊施設の集中と空き家問題に対し、施設の充実による集客はごみの増加が懸念。観光客がごみを拾うことで特産品を提供する施策。

9 班：「富士河口湖町のオーバーツーリズムの解消」…観光ステーションの新設することで、抑制・分散・収益の実現する施策

その中で優秀賞に輝いたのは 3 班「甲州市きずな事業」でした。甲州を取り巻く観光を分析し、幅広い年代を集客できる事業がないことに気づいた 3 班は、分かりやすいキャッチフレーズで全世代が楽しめる観光施策を提案しました。また、他の提案にも積極的に質問をしていたことも評価され、グループの総合力が優秀賞に繋がりました。

第 2 班では 58 名の新任職員の方に参加いただきました。今回の班では「オーバーツーリズム」に注目したグループが多く見受けられました。新型コロナの 5 類移行後はインバウンド効果による恩恵もあった一方で、多くの課題も浮き彫りとなりました。研修生一人ひとりが観光施策に真剣に向き合い、事前課題に取り組んだことで、大変有意義な研修となりました。

【第３班】5 月 30 日（木）・31 日（金）

〈各班の施策内容〉

1 班:「大月市の知名度を上げる観光施策」…大月市を代表する、おつけだんご、パフェつきもも、桃太郎納豆の知名度を上げ、スタンプラリーによる観光客の呼び込みを図る。

2 班:「中央市青春トマト～あなたの青春は何味でした？～」…中央市をテーマに、特産品であるトマトを活用した観光資源を周知し、関係人口を増やす施策。

3 班:「いいじゃん！！ふえふき」…笛吹市をテーマに、「バス版四季島」を運行し、富士山にくる外国人観光客を笛吹へ呼び込む観光施策。

4 班:「花火だけで満足してない？？市川三郷町の春夏秋冬」…“市川三郷町＝神明の花火”だけではない春夏秋冬の観光資源を町・観光協会・町民などが一体となり、活性化を目指す。

5 班:「MBTI 別 都留を巡る観光マップ」…都留市をテーマに、大学生の流出を防ぐため、シビックプライドを醸成する観光マップを作成する。

6 班:「南アルプス市のフルーツの知名度を上げる観光施策」…観光資源であるフルーツの知名度を上げ、畑のオーナー制度の導入等による観光客の増加を目指す。

7 班:「おいでよ都留市」…都留市をテーマに、若者をターゲットとしたサウナによる観光事業を展開し、都留市の魅力を発信する。

8 班:「大月市の観光客の増加」…大月市の魅力を伝えるため、校外学習を通じて地元愛を育み、また、桃太郎伝説を題材としたプロジェクトにより観光客の増加を目指す。

9 班:「北杜市の夜間需要増加について」…日帰りの多い北杜市の観光をテーマに、夜間の観光需要を充実させることで宿泊業、飲食業が活発になり、地域の活性化に繋げる施策

10 班:「観光を活用した地域活性化策」…富士河口湖町をテーマに、移住者の増加に繋がる観光施策として、フォトスポットを活用した集客と自然体験を通じた移住者増加を図る。

第 3 班では 64 名の新任職員の方に参加いただきました。今回の班では自治体のデータを活用した発表が多くみられました。総合計画や予算規模など具体的な施策や数値を提示しており、質の高さを感じました。また、建設的な質問や的を得た応答も多く、研修生のレベルの高さを実感しました。

その中で優秀賞に輝いたのは 2 班の「中央市のトマトを活用した観光施策」でした。施策内容が明瞭であり、他班からの得票が最も多かったこと、また、平井さん（笛吹市）の他班に対する積極的な質問も評価され、優秀賞に結び付きました。

【第４班】６月３日（月）・４日（火）

〈各班の施策内容〉

1 班:「よってけし‼山梨市のまち」…新型コロナで落ち込んだ観光客を、地域を巡るスタンプラリーで集客を図る。観光客の増によりバスが増便し、地域の移動手段の改善に繋げる。

2 班:「夏の宿泊グルメ旅」…県外者及びインバウンド客をターゲットとして、山梨県全体を巡る観光プランを提案し、山梨県全体の観光活性化を図る。

3 班:「北杜市 カーシェアで巡る観光ツアー」…広域的な観光地を巡るための移動手段として市営のカーシェアを導入し、観光客の利便性を向上させる施策。

4 班:「今、笛吹があつい‼～そうだ‼冬こそ笛吹に行こう～」…冬の笛吹市をテーマに、農業体験（袋掛け、剪定）と宿泊者限定のグルメを提供することで冬の観光需要を増やす。

5 班:「秋のわくわくウォーキング」…スタンプラリーにより、自然を感じるウォーキングイベントを開催。特産品の提供と地域住民との交流により笛吹市の魅力を発信する。

6 班:「すまいる大作戦 in 笛吹」…家族層をターゲットとして、モバイルスタンプラリーMAP を作成し、笛吹市内の観光地を巡る施策。笛吹市の魅力を伝え、移住促進に繋げる。

7 班:「山梨 WINE Christmas Market」…観光客が減る冬の山梨市をテーマに、県産ワインによる地域産業の活性化と地域住民が主役となるイベントを開催し、地域全体の活性化を目指す。

8 班:「涼しくなるなる鳴沢村」…夏が涼しい鳴沢村を活用して、8 月の 3 連休に夏祭りを開催。出店する地元商店や農家の売り上げに貢献し、鳴沢村の地域活性化に繋げる。

9 班:「富士河口湖町の魅力再発見の旅」…オーバーツーリズムによる観光客の局地的な集中の分散を目的にフォトスポットを記したサイクルマップを作成。町内全域の活性化に繋げる。

10 班:「北杜市 魅力再発見計画」…日帰り観光客にアニメ『スーパーカブ』の聖地を活用した「カブ割（宿泊特典・割引)」を提供。滞在時間を増やして観光収入の増を目指す。

第４班では63名の新任職員の方に参加いただきました。今回の班では全グループが決められた時間内に発表を行っていたことが印象的でした。概要・効果・予算を 7 分間で説明することは容易ではなく、繰り返し練習することが求められます。情報の取捨選択とタイムマネジメント力、そして研修生の努力が成功に繋がったと考えられます。

その中で優秀賞に輝いたのは 7 班の「山梨 WINE Christmas Market」でした。他のグループから「即実現可能な施策」として評価され最多得票を獲得しました。施策はもとより、リーダーの深澤さん（北杜市）が中心となってチーム一丸で取り組んだ結果が優秀賞に結び付いたものと思います。

最後に、この社会活動研修は、施策作成だけが目的ではなく他の市町村職員と交流し、つながりを作ることも大きな目的となっております。この研修を通してできたつながりは研修生の皆様にとって大きな財産であります。ここでの繋がりを大切にしていただき、日々の業務に活かしていただきますとともに、将来の山梨をけん引する力となることを切に願っております。

山梨県市町村職員研修所では、職員の皆様の資質向上に寄与するとともに、市町村職員の繋がりを生む研修を実施して参ります。今後ともどうぞよろしくお願いします。

今後のイチ押し研修

山梨の人口減少下における政策立案研修　（山梨県職員研修所 共催）

１　日　時
令和６年９月４日(火)、９月 11 日（水）〈任意〉、10 月２日(水)　９：30～16：30

２　講　師
関山　祐介　氏　(一財)公共経営研究機構理事
山崎　康児　氏　山梨県人口減少危機対策本部事務局人口減少危機対策企画グループリーダー

３　内容
・令和５年７月に山梨県知事及び 27 市町村長が「やまなし人口減少危機突破共同宣言」を発出しました。その背景には、結婚や子どもを望んでも、経済的な不安定さ、子育ての負担感、出産・育児・仕事の両立の難しさなど様々な要因から「希望がかなえられない」という、県民の社会に対する悲観的なとらえ方があります。また、若者の大都市圏への転出といった現状にも向き合わなければなりません。
・この危機的な状況の中、自治体職員に求められるのは、人口減少の中にあっても質の高い行政サービスを提供し、自治体の魅力をより高めていくことです。
・この研修では、県と市町村が協力して、演習を通して実践的な政策立案のプロセスについて学ぶことを目的としています。

４　申込期間
７月 19 日（金）まで

５　申込方法
やまなしくらしねっとからお申し込み（貴団体の人事担当者様にお申し出ください。）

人口減少による地域衰退は、どの業務に従事していても影響のある
避けることのできない課題です。
山梨で生きる私たち自治体職員が山梨の将来のために何をしなければならないかを
真剣に考えるのが本研修です。
職種や年齢の制限は一切ありません。
どなたでも参加できますのでご検討ください。